



じとぜんひろば

No.72 2011年(平成23年)1月1日 地御前地区コミュニティ推進協議会

うれしかったです。来年もさんかしたときはよろしくおねがいします。

◆保護者からの声◆

通学合宿へ

お手伝い頂いた皆様へ
二日間、やんちゃな子ども達をみていただき本当にご苦労されたと思います。出発前は、親の私の方が心配で二日間が長いような気がしましたが、学校から帰宅した子どもは何事もなかったように普通に「ただいま」と帰って来ました。「どうだった？」と訊ねると「めっちゃ、楽しかった」と一言・・・「来年も参加したい!!」と言っています。

家では「宿題しなさい、片付けなさい、」と叱ることはかりですが、居ないと気が抜けてしまつて子どもの大切さがよく分かりました。ボランティアでお世話していただいた皆様には、よい機会を与えていただき本当にありがとうございました。

「地区の善行に感謝」

浜之町 元山 延子

七月の陽光も暑さを感じる頃、或る会員(長寿会)の方から電話が架かった。「〇〇

日の午後四時頃から村田君子さん(仮称)のお宅の周辺の草取りをしようと思つていたので一緒に・・・と言う事だった。

村田君子さん

(八六歳)は、

浜之町在住で四月の初め救急車で自宅から病院に運ばれたとの事で、その後一ヶ月半経ち、長寿会としてお見舞いに伺つた時は大分お元氣になられ、「すみません」と言葉も聞かれる程になつておられました。

ところで、自宅周辺の草取りを浜之町長寿会の有志(ボランティア)七、八名が一齊にひとときの汗を流し、除草量も大型ゴミ袋数個に収められ、留守宅とはいえ周りがすっきりして、いつ退院されて帰宅しても気持ちが良いのでは、と皆で語り合い乍ひと休みしたことでした。その後八月の終り頃にちよつと容態を伺つたところ、他の病院(介護施設)へ転院された、との事でした。

先ずは私共としては一人暮らしである中で、安堵の心情です。そもそも人の為とて、なかなか実行は難しいものがあり、長寿会メンバーの此度の優しさと病床に伏されている方たちに心を寄添えて助け合い協力し合う精神は崇高で、わが町長寿会の誇りとして長

謹賀新年

平成二十三年 元旦



戦後六五年が過ぎわが町、地御前も大きく変貌をとげようとしております。古くからお住まいの方、新たに転入された方の地御前にまつわる思い出や、思いを語っていただきました。

今回は、県政務ご多用中にもかかわらず、幼少の頃、地御前に住まれた、広島県知事の湯崎英彦さんから寄稿頂きました。

「地御前の記憶」

湯崎 英彦

私は、生まれてから四才になるまで地御前に住んでいました。当時は育児休暇や乳児保育などなかったことから、看護師をしていた母は生まれてすぐ近所のお宅に私を預けて復職いたしました。いわば、私には自分の家の他に、日中育ててくれたおじいちゃん、おばあちゃん、そしてお兄ちゃんがいる別の家族ができたのです。

私が現在も覚えている人生最初の記憶は、地御前から五日市に引越すにあたって、トラックの中から地御前の家



写真は本文とは関係ありません

くその心を継続していきたいと思ひます。
ひいては地御前地区全体の心温まる優しいの気持ちを広げていき、皆の心豊かな発展と精神の繁栄を大きく期待するものです。



写真は本文とは関係ありません

新春懇談会のお誘い

- 日時 平成二十三年一月七日(金) 十八時三〇分～ 二〇時三〇分
- 場所 地御前市民センター 講堂
- 会費 二千円(当日徴収)
- 申込み 一月五日(水)十三時までに市民センターへお誘い合わせの上ご参加ください。
- 主催 地御前コ推協

中村英雄さんを偲んで

桃山 矢吹 恭久

永らく呼吸器の疾患で入院を繰り返されてきたことは窺っていましたが、去る十月十九日他界されました。中村さんは町内会長をはじめ広報部長、その他コ推協役員をながらく務められ地域の発展に大変貢献されました。
私が広報部にお世話になったのは、中村さんから「パソコンが使えるから」という理由でした。以来、中村さんとは原稿の収集や文章の校正などいろいろ教示して頂きました。実直な方で、誠実、勤勉、明朗、戦前教育を受けられた方で、昔の話をよく聞かせていただきました。趣味の囲碁については、高段者で私が述べるまでもなく有名な方でした。思い出すのは昨年一月発行の「じとぜんひろば」に寄稿された「俄か入院騒動記」です。苦しい入院生活にも拘らず、医師をはじめ医療従事者への感謝の念、日々の入院生活をユーモラスに綴っておられ、お人柄が偲ばれます。私としては恩師を亡くしたような気持ちで残念至極です。
ご冥福をお祈りいたします。

合 掌

第三回 新成人サッカー大会のお知らせ

- 日時・場所 平成二十三年二月九日(日) 九時開会式・九時三〇分試合開始 廿日市市グリーンフィールドサッカー場
- 内容 新成人を対象とした中学校区対抗サッカー大会を行います。
- 主催 廿日市市生涯学習課青少年 夢プラン実行委員会 夢の駅 協力団体 廿日市市サッカー協会他三団体
- 今年成人式を迎える若者の サッカー大会を応援しましょう!!

編集後記

▼今年三月末には待望久しかった、地御前小学校プール、地御前防災公園(仮称)、JA広島総合病院地域救命救急センターなどが完成し、活気あふれる住み良い地御前が具現します。
▼今号の発行にあたり、節季の忙しい中、多くのボランティアの方に協力頂き有難うございました。厚く御礼申し上げます。

盆踊り

胡町 阿部 彰子

何年振りなのか。久し振りの盆踊りに暑さもなんのその踊っていて楽しくてならない。子どもの頃は地御前市民センター(公民館)前の通りで一晩中踊ったものです。あの頃一緒に興じていた顔・顔・顔懐かしさが甦る。



手を揚げる単純と言えばそうだけど・・・熟年の方たちの全身から出る独特なリズム感には惚れ惚れする。
太鼓・三味線・横笛・音頭・合の手が揃ってこそその盆踊りでもある。

この、「ふるさと」を感じる盆踊り、老いも若きも夏の楽しみとしてまた来年も・・・と待ちたいものです。

若き頃の地御前

後町 北野 安子

昭和三十三年友人が廿日市町へ就職しており地方従業員をお世話する人を頼り九州宮崎より地御前へ参りました。郷里の宮崎県日向から別府へ行き別府から船で宮島へ、そして地御前へ。

頭の中では余程開けた土地柄と思い地御前電停の高い乗車場から降り立ち、ふっと見上げた向こうには工場の煙突。国道沿いを歩き両脇の道端には緑豊かに垂れ下がった柳の木葉がなびき、家や店も無くベニヤ工場の音が時を問わずひびいていました。

会社の前には、佐伯病院(現JR総合病院)。黄緑色をした板塀の建物、海側には大きな土手があり大きな茅がすき間なく茂つて、私の思っていたイメージからは程遠いものでした。

休日には金剛寺墓地の上の丘に登ったり、下りたり、若き日を楽しみ過ごしたものです。今は郷里を離れ地御前に身を固め古き遠い懐かしい想いにひたりながら、余生を送っております。嫁いで四十五年地御前の温かい方々に囲まれ過しています。

地御前村の山と海

金剛寺東 田島 幸雄

「お！いナバを取りにい
かんかい。」「お！行くで。」学校
帰りに話が出てから五分以内
には、びくを持って集まった。
「今日は、何処へ行きやあえ
えかの？」ナバ取り名人が即
座に行き先を決めた。当時、
ナバは地御前では「マツタケ」
「クロコウ」「コウタケ」「オ
カンスケ」を指していたが、
勿論、我々が目指すのは、「松
茸」で、他のものは行きがけ
の駄賃であった。よく見かけ
たのは「クロコウ」で我が家
にも「クロコウ」を軒下に沢
山干していた。「おい、それ
はこまいので取るな。おおよ
きようなつてとりやええ、こ
をよう覚えとけ。」私達は、
平均して、びくに三分の一位
は松茸を採った。採った松茸
は、自分の家で食べていた。
虫の食ったものは捨てていた。
その位松茸が採れた。当時、
「すき焼き」は一年一回食べ
たかどうかで、松茸はほとん
ど風呂の「くど」で焼いたか
七燐のテッキの上で焼いて食
べたものである。焼き松茸の
あの香りが忘れられない。炭
火で焼いた松茸は最高である。
地御前神社前の海岸や御手

洗川の沖の磯では、アサリ・
マテ・オオガイ等の貝がよく
採れた。



若宮悟さん提供、写真右端の山が沖山

特に沖山の下は目の細かい
さらさらとしたきれいな砂地
で、ハマグリ・車えびも採れ
た。昨今、海岸の様子は大き
く様変わりしているが、当時
は、白い砂地が広がっていた。
いなくなつて久しいが、地御
前神社前の磯には「カブトガ
ニ」が沢山いた。地元の漁師
さんは、網を破ると苦言もあ
つたが、我々にはよい遊び相
手であつた。干潮時に泳いだ
後は、這つていたカブトガニ
をひっくり返してバイバイし
たものである。カブトガニは
細長いシッポを左右に振り横
に並んだ小さな足を動かして
名残を惜しんでいた。潮が満
ちてくれば、また沖に元気に
泳いで行つた。あくる日も格

が駐屯」していました。現在
の扇園には「軍需工場（旭兵
器）」が建てられ、側に「塩
田」も作られました。
「配給制度」下の食料難で、
空き地・道の端は畑になり、
校庭にも芋畑が作られました。
血液型を胸に「防空頭巾」を
肩にかけ、兄弟のお下がりを
着て、草履で登校していまし
た。当然学用品も不足してい
ました。抗木運びなどの「勤
労奉仕」もあり、親や教師の
言うことは絶対で、家に手伝
いを皆よくしていました。学
業成績よりも「修身」が悪い
と親に叱られたものです。

昭和二十年（一九四五）戦
局はますます悪化し、地御前
にも「爆弾」が投下され、尊い
命が失われました。八月六日
広島に原爆が落とされ、まぶ
しい閃光と轟音にみんな悲鳴
をあげて机の下に潜り込みま
した。学校は広島市の被災者
の隔離所になりました。
八月十五日正午、「無条件
降伏」玉音放送が流れ、あの
忌まわしい戦争は終わりました。
外地から「引き揚げ」が
始まり、戦争は終わったもの
の、衣食住は困窮を極め、食
料難はますます厳しく、配給
では足りず「闇市・物々交換・
買出し」の毎日でした。

私達は昭和二十二年（一九
四七）、地御前国民学校を卒
業しました。国民学校の歴史
は六年間で終わりました。戦
争に翻弄された小学校生活で
したが、国民学校で結ばれた
私達の絆は深く、還暦後「地
小二十二年会」を結成して、
二十年余りも毎年クラス会や
旅行を楽しみ、人の心の荒ん
だ現在の無縁時代を支え合い
励まし合っています。



今年喜寿を迎えました。祝
賀会の記念写真の「日の丸」
は敗戦濃厚な二十年、十九歳
の先生が出征される時、教職
員・四年生以上の生徒全員で
武運長久を願つて「寄せ書き」
したものです。六十五年の歳
月を朽ち果てもせず、激動の
当時の生活をまざまざと物語
る「日の丸の寄せ書き」。こ
の歴史的事実をしつかり認識

好の悪い姿を沢山見ることが
できた。

地御前には、貝掘名人が大
勢いた。二月から五月にかけ
て汐のいい日には、めごを背
負った老若男女の磯へ急ぐ姿
をよく見たものである。「今
日は汐がええんか、わしも行
こ！」と急いで出かける人も
いた。私も「おい！きようは
おかずがないけえ、沖に行つ
てこい。」と言われて貝かき
と、びくを持って磯に走つた
ものだ。私の家は、豆腐を造
つて販売していたので、「あ
けみ」で炊いた「おから」は
最高のご馳走であつた。最近
の磯は、潮の流れが悪く汚れ
ており貝堀に行く気がしない。
残念です。

塩田グランド

での思い出

金剛寺東 西村 辰馬

私が中学一年生の頃、現在
の扇園の東側は塩田だつた。
もう操業を止めて何年にもな
り、当時、グランドとして使
われ、私達子どもは毎日のよ
うに野球の三角ベースをして
遊んでいた。

その時、国道宮島方面に向
けて外車のスポーツカーが止
まり、背の高い外人二人が降

りて来て楽しそうに話をしな
がら・・・何を云っているの
か分からないが、多分バット
とボールを貸してくれと言つ
ているように思えたので渡す
と、折れたバットに黒いテー
プが巻いているのを見て笑い
ながらトスバッチングを始
めた・・・。後で分かるのだ
が、この外人こそ、あの有名
な大リーガーのジョー・ディ
マジオ選手だつたのです。も
う一人はフランク・オドール
監督（サンフランシスコ・シ
ールス）だつたとか、二人が
立去つてから、大人の話で知
つたのです。



写真は本文とは関係ありません

激動の地御前
国民学校時代

鹿の子 中野 恵司

日本の学校の歴史の中に一
九四一年～一九四七年の六年

して、私達が体験した悲惨な
戦争を、国民学校を二度と再
び子や孫に繰り返させてはな
りません。
戦争のない平和な国を目指
すのは、生き残つた私達の責
務ではないでしょうか。

「通学合宿」

コ推協・青少年部
部長 木戸 八寿子

コ推協、民生委員・児童委
員協議会主催。市民センタ
ー共催で、七月十一日～十三日、
二泊三日の「通学合宿」を開
催しました。

「通学合宿」の目的は、学
校に通いながら、地域にある
施設を活用して、一定期間の
集団生活をする事で、直接
体験の中でも、とりわけ不足
している「生活」に関する体
験活動を通じて、子どもの「自
律と自立」を図ることです。

地御前地域では、小学校三・
四年生を対象としました。発
育の大きな節目の九歳に具体
的な生活を通じて人間関係の
基本を身につけさせるためです。
今回の「通学合宿」では、地

域のコミュニティや民生・児
童委員が「地域の子は地域で



と言う言葉をたくさん頂きま
した。「通学合宿」を実施す
るにあたり、多くのボランテ
ィアの方々のご協力を頂きま
した。本当にありがとうございます。
今後も、地御前の子
ども達を見守り続けていき
ましょう。

参加した学童からの声

中村 美咲（四年

通学合宿では、ごはんのじ
ゆんぴ、買物を手伝つてくだ
さつてありがとうございました。
料理を作つて、いっしょ
に食べたとき「おいしい」と
言ってもらえてうれしかった
です。いっしょにトランプを
したことも楽しかったです。
お母さんと会えないのが少し
さみしかったけど、みんなと楽
しくすごせて、よかったです。

下土井 咲椰（三年

料理はいっしょに作つてく
れたから、とてもおいしかつ
たです。ぎょう水は、小さな
プールに入っているみたいで、
楽しかったです。近所のおふ
ろでも、友だちと入れたので、

楽しかったです。近所のおふ